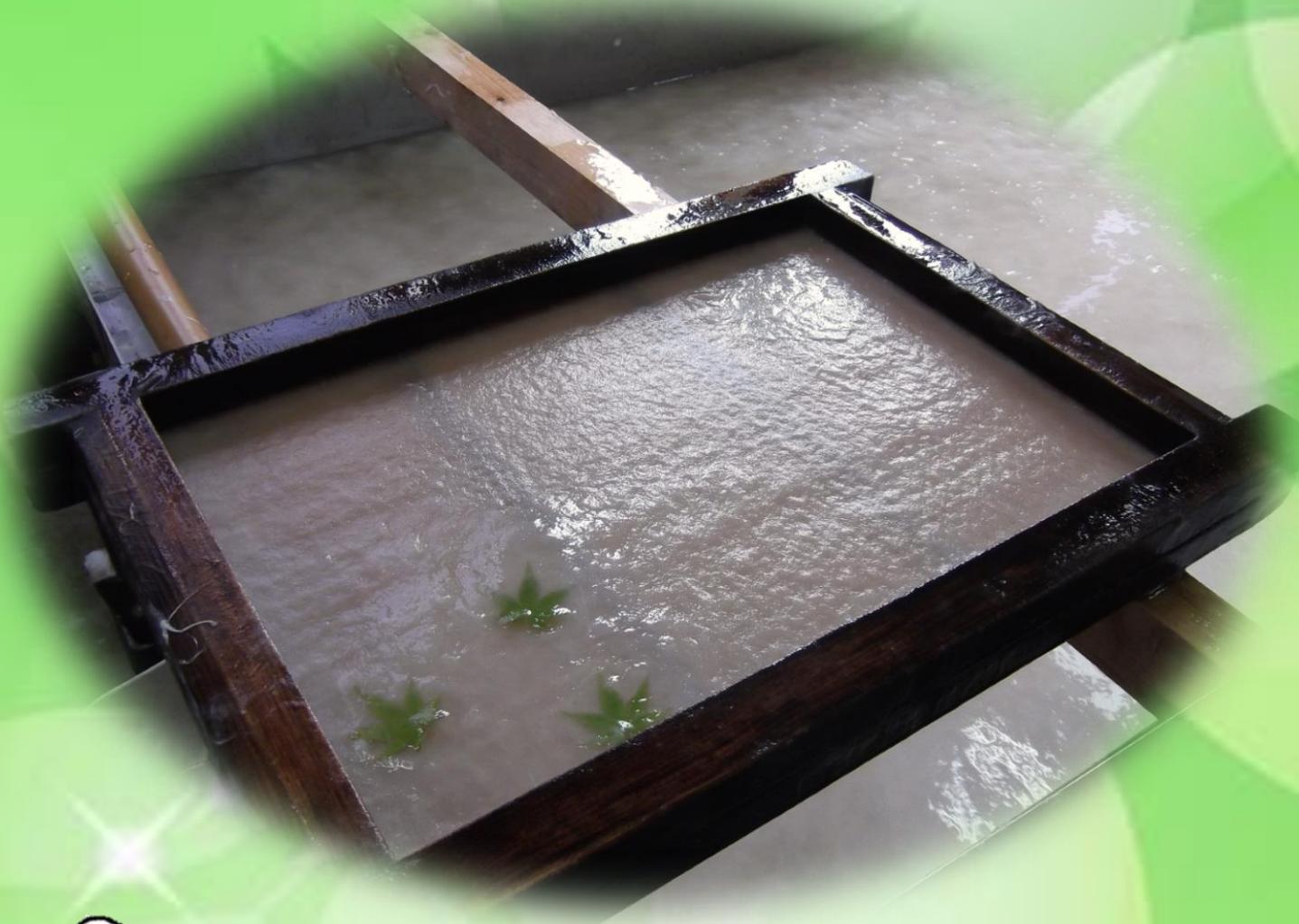


国臨協新潟地区会会報

# 朱鷺つと

2018年7月発行  
第83号

発行者:菅 孝(西新潟中央)  
編集委員:平原 博美(さいがた)  
田辺 恵梨(さいがた)  
加藤 梨紗(新潟)



# 会長・副会長挨拶

暑中お見舞い申し上げます。ここ越後も梅雨明けとともに本格的な暑さがやって参りました。まず、西日本を中心とした記録的な大雨による被害で、多くの方が被災され、今なお行方不明者も多く、心よりお見舞い申し上げます。

さて、新潟地区会会員の皆様には益々ご健勝で御活躍のことお喜び申し上げます。山崎前会長の転勤に伴い、今年度新潟地区会会長を拝命いたしました菅です。宜しくお願いいたします。

思い起こしますと2009年さいがた医療センターに赴任した時と2015年西新潟中央に配置換えになった時と今回で、地区会長をやらせていただくのが3回目となります。今年の4月、新潟地区では3施設中2施設の技師長が変わられるという事で、地区技師長会との併任も含め、若干の理事メンバーの変更があり新体制で残りの半年間を臨むこととなりました。どうぞよろしく願いいたします。

今、検査室にとっての一番の仕事(ルーチンは別で)はやはり法改正に向けての準備でしょうか。世代交代も今まで以上のスピードで進みます。人材育成も思うように進まない中で副技師長はじめ主任技師、若手の技師の皆さんにとって益々大変な時期になると思いますが反面、飛躍する大チャンスでもあります。個がしっかりとした力を身につけ、組織として纏まる事が出来れば大きな力となります。

ワールドカップも終盤に来て、戦略も大切ですがそれを実行する個が、チームワークが優れている国が残っているような感じがしました。

さて、新潟地区会も今年度、新たな会員を迎え、紙すき交流会を皮切りに本格的に活動がスタートいたしました。地区会報『朱鷺っと』や支部学会でのポスター作成も回を重ね、益々充実してまいりました。エコミークラス症候群予防検診へのエコー検査技師育成も着実に進んでいます。

今後は秋に予定されています地区会定期総会・研修会まで、皆様にお目にかかれませんが、各施設、連絡・情報交換を密にして、新潟地区会を盛り上げていきたいと思えます。会員皆様の更なるご協力・ご支援を切にお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

(追伸、2020年総合医学会は関東信越グループ担当で新潟開催が計画されています。)



新潟地区会会長  
NHO西新潟  
中央病院  
技師長 菅 孝

4月より新潟地区会副会長を拝命いたしました。もとより微力ではございますが任期を全うできるよう努めてまいりますので、会員の皆様におかれましては何卒やさしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

地区会行事として、先日交流会が無事に終わりました。ご参加いただいた皆様、後方支援くださった皆様に感謝申し上げます。交流会と総会の2大イベントが皆様と交流できる限られた機会となっております。業務のみならず様々な情報交換の場となり、今後も地区会としての機能が発展していける場となることを願っております。

さて、診療報酬改定を機に検査部門における増収策を検討したり、12月の法改正に向けて準備を進めておられることでしょうか。女性技師が増えた現場において、団塊の世代から若手へと受け継ぎ、検査部門がその存在意義をさらにアピールしていくために取り組む課題は何でしょう。働き方の改革・業務環境の整備、チームとして働くためのノンテクニカルスキルや検査技師としての基礎的学術・技術の習得とレベルアップ。どれも自己の将来展望をしっかり持ちながら個人個人が貪欲に求めていくことは重要ですが、そのバックアップとして地区会をはじめとしたこの組織に何ができるのか、何を望むのかを模索し、皆様からも情報発信していただきたいと思えます。行けというならどこまでも、訴状をもって直談判・・・なんて危ないことはやめるとしても、近いようで遠い県内3施設ですが、それぞれの病院特性を生かした取り組みなど、この地区会が益々活発となりますことを期待しています。

皆様のお知恵を拝借し、楽しくこの時代の流れを乗りこなしていければと思います。今後ともよろしく願いいたします。



新潟地区会副会長  
NHOさいがた  
医療センター  
副技師長 平原 博美

# 退職者



NHO小諸高原病院  
臨床検査技師 齊間 理

新潟地区会の皆様ご無沙汰しておりました。4月1日付けでNHO小諸高原病院へ再雇用で採用となりました。在職中は会員の皆様には大変お世話になりました。地元に戻り早くも3ヶ月経ち、ようやく退職後の日常生活も慣れて来ました。小諸高原病院には週28時間時短(週4日)で勤めさせて頂いております。こちらは新潟の海拔数メートルからいきなり標高1000メートルの地へと変わり、息づいている植物や昆虫達もだいぶ種類が違います。敷地内には白樺が生え、また秋の虫と思われる鳴き声が既に響いています。仕事では検査業務は全て伝票運用で行っています。まさにマンパワーに頼っていますので正直予想に反し毎日忙しです。また、4月から院長が替り昨年に比べC類点数が月平均3割程増加している影響も有ると思われます。ただ、経営企画・管理診療会議等には参画不要となり、一人の臨床検査技師としてとても楽しく働かせて頂いております。私事では新潟県には遊びに行く機会が多く、先日も寺泊の海鮮店へ家族で出かけた折りに新潟病院の脇を通り「頑張れ！」エールを送りながら帰って来ました。又、そのうちに寄らせて頂きます。趣味の愛車は丁度9回目の車検となり、ホイール・タイヤ・エアロパーツをリフレッシュし暫く行けなかったサーキット走行を復活しようと計画しています。最後になりましたが、新潟地区会の益々の発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を応援しております。ありがとうございました。

臨床検査技師 渡部 弘美



平成6年に国立犀潟病院(現さいがた医療センター)に就職して以来新潟病院で定年退職するまでの24年間新潟地区会にお世話になり、皆様方のご協力を得て楽しく働かせていただきました。総会と交流会で顔を合わせる度、地区会の皆様はいつもフワツとした雰囲気があり心地よかったです。ありがとうございました。業務を始めた当初、なにもわからぬままヒト遺伝子検査に突入し、それは宇宙をさまよっているような感じをもっていました。立ち位置がわからない私は日臨技や、遺伝子学会で勉強会があればどこへでも行き、声がかかれば何にでも参加しました。手技は神経内科の中島先生の手真似で覚えました。後付けで文字から習得していくわけですからおかしなものです。犀潟病院時代にずっと応援してくださった当時の水島主任にはこの場をかりて深謝いたします。新潟病院に採用された時は臨床検査ができるのですから本当にうれしかったです。臨床検査は患者検体の異常を一番に発見できる立場として少しワクワクした気持ちもありました。最後の3年は遺伝子機器の中で一番新しい次世代シーケンサーに挑戦する機会になりました。優秀なスタッフ達に巡り合え、安心して退職の日を迎えられたことに感謝いたします。皆様方の今後の御活躍を期待し応援すると共に、地区会のますますの御発展を祈念しています。

最後になりましたが、このようなご挨拶の場をいただき御礼申し上げます。

# 転出者



NHO下総精神医療センター  
技師長 山崎 正明

4月1日付けで下総(しもふさ)精神医療センターに配置換えとなりました。さいがた医療センターでの3年間の途中で地区会長という大役を仰せつかりましたが、大過なく任期を全うできたのは皆様のご理解とご協力のお陰と心より感謝しております。新潟で生まれ育ち、その後、関東に出て約25年ぶりのUターン。短い間でしたが、改めて新潟県人の性格の良さと雪国で暮らすことの大変さを感じました。単身赴任生活はそれなりに大変でしたが、新しい仲間や、若かりし頃に縁のあった多くの方々と再会し、色々と交流出来たことは一生の財産です。

下総は精神科単科の施設で、統合失調症や躁うつ病などの疾患以外にも、結核を合併した方や薬物中毒、認知症の治療も行っており、医療観察法病棟もあります。さいがたも精神科を有する施設でしたが、ここは更に本格的・専門的な感じでした。東京駅から約1時間、千葉市の外れに位置し、東京ドーム4個分の敷地を有する自然豊かな土地柄で、春はタケノコが採れ、ウサギやタヌキも時々出没するらしいです。現在、雑草対策でヤギ(※レンタル)を放し飼いにしております。もし機会がありましたら、ぜひ見にいらしてください。最後になりましたが、新潟地区会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、異動のご挨拶とさせていただきます。多々お世話になり、ありがとうございました。

この度、4月1日付で栃木医療センターに昇任で異動となりました。新潟地区会では3年間大変お世話になりました。8年前にも異動の挨拶を書かせて頂きましたので今回で2度目となります。新潟地区会は3施設の距離が遠いものの活動が活発で、レクリエーションや総会で各施設の方々と交流できるのが楽しみでした。その時々皆様にお世話になり感謝しております。異動先の栃木医療センターは宇都宮市にあり、350床の急性期病院で検査科は17名のスタッフが2交替制勤務で24時間365日対応しています。4年前には新病棟が完成したのですが、検査科のある外来棟は古く、新外来棟の建設が現在の病院目標です。建設予定地には雑草が生えないように4頭のヤギを放牧して除草を行っています。栃木地区会は同じ宇都宮市内の10キロ程の距離にNHO宇都宮病院があり、2施設と少ないですが地の利を生かして新潟地区会同様に活発に活動しています。

今回、昇任ということでまだまだ慣れない業務に戸惑うこともありますが、よりよい職場環境の構築や人材育成に努めていきたいと考えております。

宇都宮市は、皆様ご存じのように餃子の町です。宇都宮駅前には餃子のお店が何軒もあり、大谷石でできた餃子像もあります。世界遺産の日光の社寺も近くにありましてぜひ遊びにいらして下さい。

最後になりましたが、新潟地区会の益々のご発展と皆様のご健康を祈念して異動の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



NHO栃木医療センター  
副技師長 川上 喜久

# 転入者



NHO新潟病院  
技師長 岡村 治

平成30年4月1日付で新潟病院に臨床検査技師長として赴任しました岡村と申します。隣の長野県千曲市の出身です。今まで埼玉、長野、茨城、群馬、東京の施設で勤務してきました。「いつかは新潟で勤務するだろう」そんな思いがあり、今回の異動の内示をいただいて「いよいよ新潟か！」と、満を持して新潟病院に参りました。

新潟病院は重度心身障害・筋ジストロフィー・小児医療を柱とする旧療養所の病院で、今まで私が勤務したことのないタイプの施設です。とはいえ、検査内容は他の施設と何ら変わりなく、少数精鋭のスタッフとともに仕事することになり早くも3カ月が経ちました。4月は病院近くの赤坂山公園で夜桜の花見、6月は500以上の露店が立ち並ぶ「えんま市」に出向き、また、新潟地区交流会では会員のみなさんと楽しいひと時を過ごさせていただきました。7月、8月は花火も楽しみです。

この間、技師長として諸会議に出席して院内の様子や検査科の立ち位置などが少しずつわかり始めたところです。検査科の業務・経営改善等と並行しながら、さしあたり法改正に伴う標準作業書や記録類の整備を喫緊の課題として取り組んでいかなければと思っています。大変な作業ですが、新潟地区3施設で情報共有しながら進めていければと考えていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

向暑の候、新潟地区会の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

この度、さいがた医療センターに赴任しました竹内と申します。どうぞよろしくお願い致します。

新潟県での勤務は初めてですので簡単に自己紹介をいたします。出身地は群馬県下仁田町というところです。ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが「ネギとこんにゃく」の町、そして隣には高齢人口割合日本一の南牧村がある大変風光明媚な場所で生まれ育ちました。

国立病院へは、昭和62年国立高崎病院で非常勤として採用され、その後は伊香保温泉のすぐ下にありました国立西群馬病院、国立国際医療センター、横浜医療センター、埼玉病院、相模原病院と勤務し、今回の異動となりました。

さて、最近では体力の衰えを感じる事も多く休日には毎週テニススクールに通い体力維持に努めています。上越でも転勤後スクールをすぐ探し継続しています。週に一度思いきり汗をかくことはとても爽快で、また幅広い年代・職業の方々と接することは、体はもちろん心のリフレッシュにもなっています。また、単身赴任ですので職場以外の方と繋がれる良い機会と楽しく通っています。

さいがた医療センターでは自分に与えられた職務を十分に理解し職員の方々と協力し、業務に取り組みたいと「長～い長～い」廊下を歩きながら思っております。

最後に新潟地区会の皆様と交流を深めていきたいと思っておりますので、温かいご指導のほどよろしくお願いいたします。



NHOさいがた医療センター  
技師長 竹内 智明

# 転入者



NHO西新潟中央病院  
主任 加藤 輝

平成30年4月1日付で西新潟中央病院に細菌血清主任として昇任で参りました加藤輝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。新採用より西新潟中央病院で4年、国立成育医療研究センターで3年を経て、この度、再度西新潟へ戻ることができて非常に嬉しく思っています。日本海と佐渡島が病院の窓から見られると懐かしく感じられ、趣味である「釣り」になお一層のことちからを注いでいきたいです。

現在、法改正のために標準作業手順書の作成を臨床検査科一同一丸となって頑張っています。私自身、成育にてISO15189認定取得から携わって在職まで経験したことを活かし、標準作業手順書作成へのアドバイスと検査室の運用面の改善に取り組んでいきたいと思えます。そして、西新潟は新潟県唯一の結核病院のため、その名に恥じないように細菌検査室の信頼性の維持・検査の質向上に努めていきたいです。最後になりますが、主任技師として何分にもまだまだ未熟者でありますので、今後とも宜しくご指導のほどお願い致します。



NHO西新潟中央病院  
臨床検査技師 中野 里美

4月1日付けで横浜医療センターから西新潟中央病院に異動となりました、中野 里美(なかの さとみ)です。どうぞよろしくお願いいたします。技師として5年目を迎え生理検査を担当しています。横浜医療センターでは心エコー検査を多く担当させてもらい超音波検査士認定試験にも挑戦したいと考えています。出身は新潟市東区で自宅から車で通勤しています。みなとトンネルを通り通勤しており、晴れているときは佐渡ヶ島や日本海に沈むきれいな夕日を見ることができます。

昨年は西新潟中央病院で行われた「てんかん研修会」にも参加させていただき、専門性の高さに驚きを感じると共に脳波検査の奥深さに改めて気付かされました。その時はまさか1年後に職員として働けるとは思っていませんでした。この度、西新潟中央病院に配属されたことを機に神経生理検査においても多くのことを学びたいと考えています。

不慣れな点もありご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いいたします。

# 新潟地区会 交流会

## 小国和紙紙漉き体験 & 小国森林公園でバーベキュー

6月23日(土)に新潟地区交流会が開催されました。

今回は、14名の会員が参加し、さいがた医療センター主催で行われました。

紙漉き体験の会場は、長岡市にある小国和紙生産組合で純楮紙手漉き和紙を生産する工房です。そこで、和紙ができるまでの説明を聞き、紙漉き体験をさせていただきました。



これが、和紙の原料となる楮の木です。木を切り揃え、蒸して皮をむき、皮の部分を使用します。



皮引き、煮る、チリヨリ、たたく、これらの工程を経て、せんい状になった紙の原料に水やトロロアオイという植物から出る粘り気のある液を混ぜたら、いよいよ紙漉きをしていきます。



トロロアオイの  
とろとろ～

**紙漉き始めるぞ!!**





漉いた紙に紅葉などをのせて模様をつけました♪  
一晩、水分をしぼって、紙干しをしたら完成!!



このドレスも和紙でできています。  
レンタルやっています。



紙漉き体験の後に、小国森林公園でバーベキューをしました。



バドミントンも楽しかった！



もっとも多クラリーが続いた山本 & 加藤ペアです



加藤さんに  
捕獲された



# 定年退職記念品



齊間技師長にはご本人希望の商品券。

渡部技師にはトレース板と日よけ帽子を贈呈しました。

# 今後の活動計画

- 9月1日 第46回国臨協関信支部学会
- 10月 第3回 新潟地区理事会
- 10月6日 第38回新潟地区会定期総会・研修会

～編集後記～

梅雨が明けたというのに連日の雨に季節の変化を感じます。

これから待つ暑い季節を思うとすでに夏バテ気分ですが、イベント事も多い季節なので、満喫したいです。(R. K.)